

不規則動詞とは？

★動詞 (be 動詞も一般動詞も) は、

原形 (げんけい)、過去形 (かこけい)、過去分詞 (かこぶんし)、ing 形 (イングけい、アイエヌジーけい)、と形が「変化」します。

このうち、過去形と過去分詞は、

原形 (動詞のもとの形) に “ed” を付けて作ります。

例

原形	過去形・過去分詞
play	→ played
stay	→ stayed
call	→ called
listen	→ listened
like	→ liked
study	→ studied

※ “ed” じゃなくて “d” だけを付ける場合もあるよ。

※ y を i に変えて ed を付ける、というものもあるので注意！

不規則動詞 (= 不規則的な変化をする動詞) とは、

“ed” が付く変わり方ではなく、その動詞独自の変わり方をするもののことを言います。

例

原形	過去形	過去分詞
come	→ came	→ come
make	→ made	→ made
have	→ had	→ had
get	→ got	→ got
go	→ went	→ gone
write	→ wrote	→ written

こういうふうに独自の変わり方をする不規則動詞は、

その変わり方を、1 語 1 語、覚えていかなければなりません。

「えっ、大変そうだなあ…。」という皆さんの声が聞こえてきます (笑)

では、“ed” を付けるほうの動詞を覚えていきましょうか？ こちらのほうが簡単そうですね。

↓

何百語もありますよ？ いや、何千語？ (いや、ほんとにほんとに。笑)

これに対して、不規則動詞のほうは、初級～中級レベルであればせいぜい 50～60 語というところです。その中でなんとなく共通点があったりするものもあるので、実際に覚える労力はもっと少なくできます。

不規則動詞のほうを覚えていったほうが、圧倒的に簡単です。 (断言)

初めからすべてを覚えなくても、「まずはこれだけでも！」という重要な動詞とその変化の様子を一覧表にしましたので、

ぜひ、まずはここから、頑張ってみてくださいねφ (. . ;) Fight!!